

空港業務DX推進官民連絡会

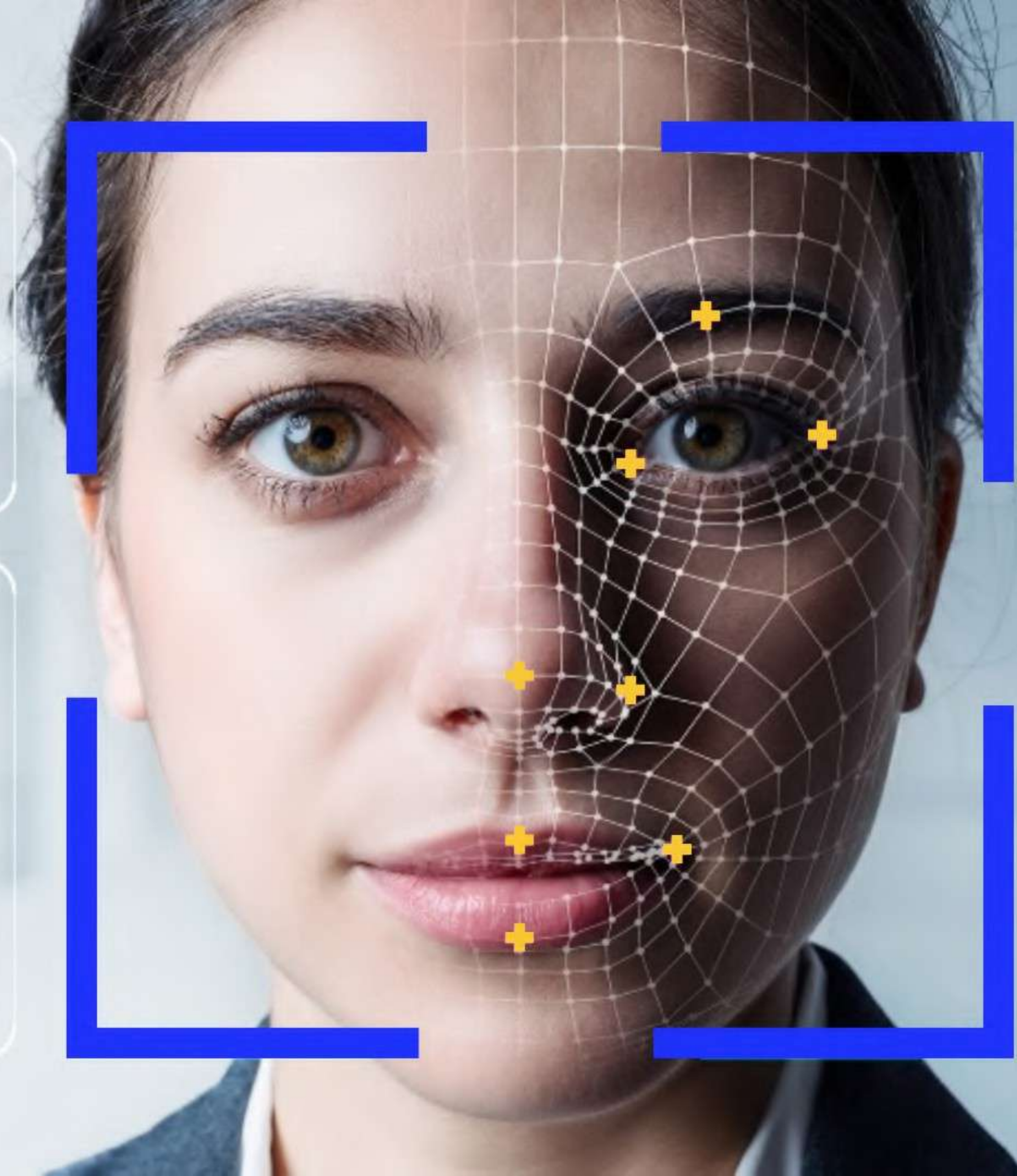


Unlocking the Future

The Passenger's Journey
Toward a Seamless and
Contactless Experience

シームレス・コンタクトレスな
空の旅

2025年12月11日



Lessons learned from COVID-19

コロナで浮上した問題点と解決策

コロナ期間

- 人と人との接触は敬遠
- 入国に必要な多くの書類を適切な時間内でさばくことの難しさ
- 紙ベースのプロセスは手続きが煩雑で安全ではない

コロナからの回復期

- グランドハンドリングをはじめとするスタッフ不足
- 多くの国がコロナのワクチン接種証明やPCR/抗原検査の証明書を渡航前に提出することを要件化したことで、到着時の混雑を回避
- 日本ではMySOS, VJWのアプリを用いて日本到着旅客の事前審査を実施

コンタクトレストラベル

- 人との接触を少なくするためのオフエアポート化の推進
- 書類のデジタル化推進

出国前審査

- 健康関連の書類のみならず、あらゆる書類の渡航前処理ニーズの高まり
- “Ready to Fly”

この経験を通常業務に組み入れる

→ 空港の混雑緩和

→ 将来起こりうるパンデミックなどの危機に対応可能
特別なことはしなくてもいい体制づくり

シームレスなエンドツーエンドのシステム構築実現に向けて

- 政府機関・航空会社・空港・サプライヤーなど、すべての関係者の協力が不可欠
- 3つの主なボトルネック(旅客の確認、入国審査、空港タッチポイントへのアクセス)に対する解決策を、短期・中期・長期のタイムラインにわたって検討
- 現状の運用と最終形と較して評価し、そのビジョンを実現するための段階的なステップが重要

“Our vision for future travel is fully digital and secured with biometric identification,” - “While the technology exists to do this at each stage of a journey, linking these steps together has proven challenging.”

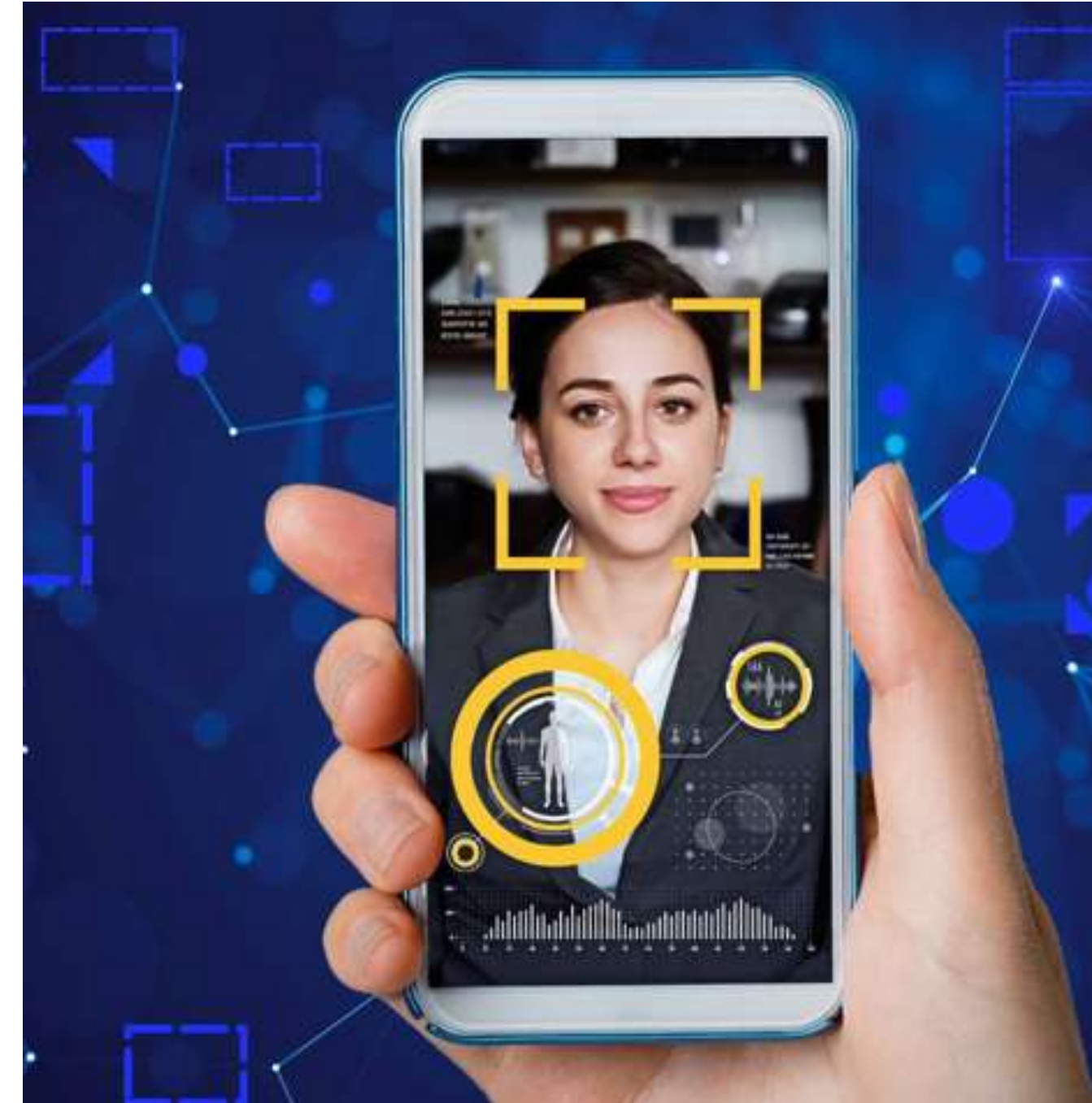
Nick Careen
IATA’s Senior Vice President for
Operations, Safety and Security



1. Passenger Identification using Digital Identities

ボトルネックの解消その1：デジタルIDを用いた旅客の確認

- デジタルIDの構築は、これからの旅行の基盤となる技術
- パスポートは乗客の身元を証明する物理的な文書
- デジタルIDはパスポートと同じ役割を果たし、モバイルデバイスに保存
- デジタルIDには、パスポート情報（生体認証写真を含む）、ビザ情報、入国管理情報などが含まれる
- 生体認証技術と統合することで、乗客の顔とデジタルID内の生体認証写真を照合し、正確な本人確認を行うことが可能
- ICAOではDigital Travel Credentialとして国際的な仕様を制定
- 一つのIDで各国の渡航が可能な互換性(Interoperability)が理想



2. Immigration

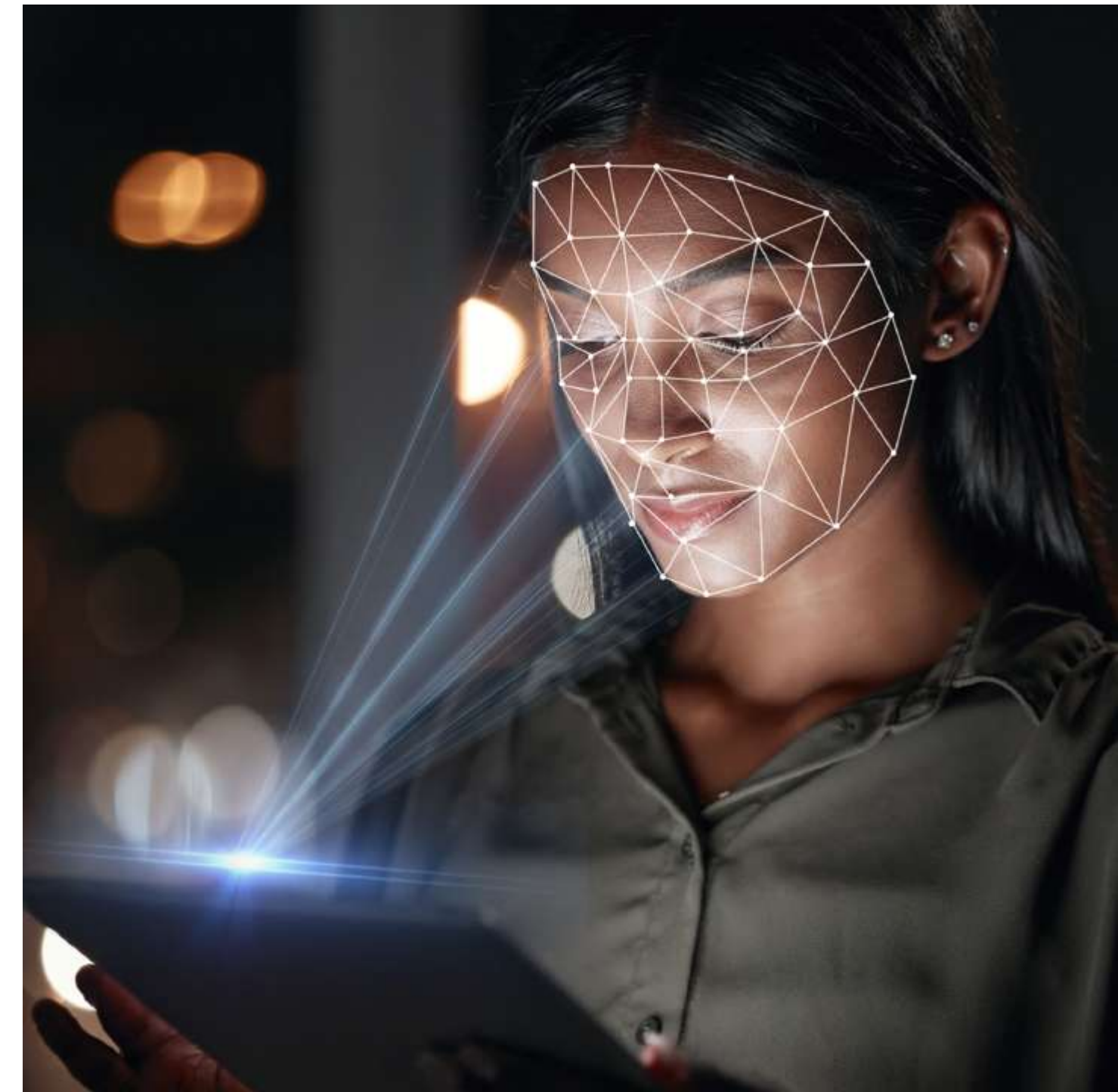
ボトルネックの解消その2：渡航前の入国審査・許可

理想的には、旅客は入国管理当局から渡航前許可を取得

- 旅客はオンラインで入国申請し、渡航許可のデジタル通知を受け取る
(コロナ時のPCR・抗原・ワクチン接種証明と同じ考え方)
- 旅客は入国許可を航空会社と共有

航空会社は入国許可を事前に(リモートで空港外で)確認

- 航空会社は空港でのビザ確認などの渡航条件チェックが不要
- 混雑が緩和され、旅客体験が向上
- 入国が認められない旅客がそもそも旅行に出発するのを防ぐことができるため、政府にもメリットがあります。



Legacy process

What was done in the past

これまでのレガシーなプロセス

Current Capabilities

What is done today

いまできること

Optimal end state

What can be done tomorrow

最適化された最終形

出発空港

- 航空会社は、乗客が目的地および経由地の入国要件を満たしているかどうかを手作業で確認

到着空港

- 到着空港で入国管理当局は、より詳細な審査を実施
- 出入国審査の待ち行列は、空港のキャパシティと乗客の体験の両方に影響を与える最も重要な課題

出発前

- デジタルIDがあれば、[Timatic](#)を用いて旅客が空港到着前に書類確認が可能

出発空港

- [Timatic AutoCheck](#)を用いて、すべての入国要件が満たされていることが確認可能

到着空港

- 現在多くの国が出入国自動化管理ゲートを利用していますが、これは従来の手続きを大幅に改善するものの、特定の国籍・書類・年齢層に限定される国の場合、長蛇の列を生じさせています

出発前

- 乗客は入国管理局から渡航事前承認を受領

出発空港

- 航空会社による入国書類チェックの軽減

到着空港

- 出入国管理当局と事前に共有されたデジタルIDと組み合わせることで、有人入国審査カウンターから生体認証カメラを備えた自動化ゲートでの運用が可能

TIMATIC: Travel Information Manual AutomATIC

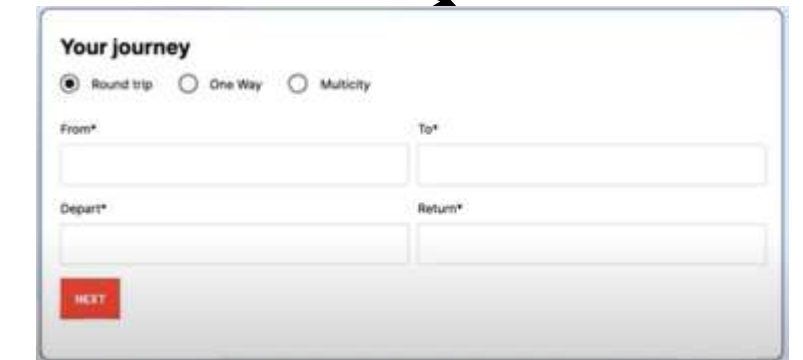
一つのデータから様々な方法で機能を提供



政府機関からの情報提供



- Passports
- Visas
- Health requirements
- Travel restrictions



Timatic Series	Travel Information Manual	Timatic AutoCheck	Timatic Web	Timatic Widget
利用形態	月間刊行物	チェックインKIOSK	Web	航空会社・旅行会社のWebやAppと連動
ユーザー	航空業界	旅客	業界+旅客	業界+旅客



3. Airport Touchpoint Access - Contactless Travel

ボトルネックの解消その3：タッチポイントへのアクセス

- デジタルIDは航空会社・空港保安担当者・出入国管理当局などの主要な関係者と事前に共有可能
 - デジタルIDにより、旅客は空港のタッチポイントをシームレスに移動可能
 - 旅客の顔がパスポートとボーディングパスとして機能
 - 空港での省人化と混雑緩和
- 共有するかどうか、いつ、どこで共有するかは、各国の個人情報保護法と保安基準とで決定
- タッチポイントで顔を利用することは、旅行者の多くの大きな不満を解消し、より安全で管理された入国審査プロセスを確保することで、旅行体験を変革

*タッチポイント

チェックイン・手荷物預入・保安検査・乗り継ぎ・出入国審査・免税店入店・ラウンジアクセス・搭乗など



IATA Support Solutions

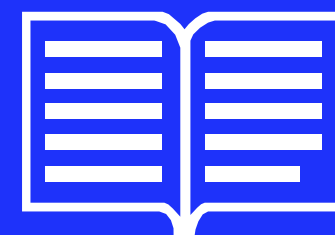
ツールとソリューションを活用することで、シームレスな導入に踏み出すことができます。IATAは、この移行期間全体を通してスムーズかつ効果的なコンタクトレスプロセスへの移行をサポートします



Contactless Travel Solutions

コンタクトレス・トラベルは、旅客手続きにおけるシームレスなテクノロジーであり、紙の書類や手作業によるやり取りの必要性を軽減します。IATAのコンタクトレス・トラベル・ソリューションは、デジタルID、生体認証を活用することで、航空会社・空港・出入国管理当局へのデータ共有を自動的に迅速・安全・効率的に実現します。

[Find out more](#)



Digital Identity and Biometrics Fundamentals Handbook

旅客プロセスの効率とセキュリティを強化するために、デジタルIDと生体認証技術を実装するための包括的なガイダンスを提供します。

[Find out more](#)



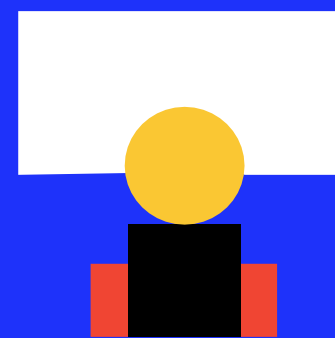
Timatic Solutions

航空会社・空港・地上係員向けの最も信頼できるソリューションは業務の効率化・旅客体験の向上・渡航書類の要件チェックを目的として設計されています

Timatic AutoCheckは、統合型でリアルタイムかつ自動化された渡航書類検証と入国要件チェック機能を提供し、航空会社は乗客が空港に到着する前から入国要件を満たしているかどうかを確認できます。

Timatic Widgetは航空会社のウェブサイトやモバイルアプリに簡単に統合できるもので、乗客に事前に情報を提供し、安心して旅程を準備できるようサポートします。

[Find out more](#)



Training

IATAのデジタルIDと生体認証の基礎トレーニングコースでは、One IDソリューションの導入に必要なデジタルIDと生体認証の基本的なモデル・書式・機能について学びます。このコースは、データ保護と個人情報保護要件を遵守しながら、航空旅行における乗客識別のための信頼性の高いデジタルIDを構築するための、将来の専門家育成に役立ちます。

[Find out more](#)



成功への5つの要素と関係者間の連携



導入コスト
運用コスト

Cost
コスト

Regulation
制度

法制度
ガイドライン



わかりやすさ
使いやすさ
利便性の実感

User
Experience
ユーザー
利便性

Technical
技術

技術的に可能なこと
業界標準
互換性
発展性



Operation
運用



旅客への周知
運用手順
空港以外にいるユーザーサポート